

弘前市立博物館マスコットキャラクター「いのっち」の使用に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、弘前市立博物館マスコットキャラクター「いのっち」(以下「いのっち」という。)の使用に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(いのっちに関する権利)

第2条 いのっちに関する一切の権利は、弘前市に属する。

(使用の申請)

第3条 いのっちを使用しようとする者(以下、「使用者」という。)は、あらかじめ弘前市立博物館長(以下、「館長」という。)の承認を受けなければならない。

2 使用者は、事前にいのっち使用承認申請書(様式第1号)に次の書類を添えて館長に提出しなければならない。

- (1) いのっちの使用方法やデザインがわかるもの
- (2) その他、館長が特に必要と認める書類

(申請書の省略)

第4条 館長は、前条の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合は、申請の全部、又は一部を省略することができる。

- (1) 報道機関が報道を目的として使用する場合
- (2) 学校が行事及び授業を目的として使用する場合
- (3) 弘前市、弘前市教育委員会及び地域が行事及び活動を目的として使用する場合
- (4) 個人が非営利目的で、いのっちのPRに使用する場合

(使用の承認)

第5条 館長は、第3条の使用の申請があった場合は、その内容を審査し、適当であると認めるときは、いのっち使用承認書(様式第2号)を交付するものとする。ただし、次に掲げるものについては使用を承認しないものとし、いのっち使用不承認書(様式第3号)を交付する。

- (1) 特定の政治、宗教、思想などの活動に使用しようとする場合
- (2) 法令及び公序良俗に反する、又はその恐れがある場合
- (3) 記念商品にあっては、当該商品の品質、規格、性能等が法令などで定める基準を満たしていない、又はその恐れがある場合
- (4) 弘前市、弘前市立博物館及びいのっちの品位を傷つけるデザインである、又はその恐れがあると認めた場合
- (5) その他、館長がいのっちの使用を適当ではないと認めた場合

(使用の方法)

第6条 使用者は、別に定めるデザインを基本として使用するものとする。ただし、基本デザインに基づいて動きを持たせることや一部の色彩の改変は、いのっちの品位を傷つけたり、イメージを崩さない次に掲げる範囲で使用を認める。

- (1) 自転車に乗ったり、散歩したり、スポーツをするなど、法令及び公序良俗に反しない範囲の動きを持たせるデザイン
- (2) 胴部文様の色彩を改変するなど、いのっちのイメージを崩さない一部の色彩改変

(遵守事項)

第7条 使用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 関係法令の遵守に努めること。
- (2) 第三者がいのっちに係る権利等を侵害し、または侵害しようとしている事実を発見した場合は、直ちに弘前市立博物館に連絡すること。
- (3) いのっちを付した商品等の瑕疵により第三者に損害を与えた場合は、これに対して全責任を

負うこと。

(4) いのちのちの使用に関して、故意または過失により弘前市、弘前市教育委員会及び弘前市立博物館に損害を与えた場合、これによって生じた損害を賠償すること。

(5) 使用承認を受けた商品等は、弘前市立博物館に使用状況を報告すること。

(6) その他、本件いのちのちの使用に関する規定に違反する行為を行わないこと。

(使用料)

第8条 使用料は無償とする。

(使用承認の変更)

第9条 いのちのちの使用に関して、承認を受けた事項を変更する場合は、いのちち使用承認変更申請書(様式第4号)を館長に提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定による申請があった場合は、その内容を審査し、適当であると認めるときは、いのちち使用変更承認書(様式第5号)を交付するものとする。ただし、使用変更を承認しないときは、いのちち使用変更不承認書(様式第6号)を交付する。

(使用の取消・中止)

第10条 いのちちを使用する必要がなくなったときは、いのちち使用承認取消届(様式第7号)を館長に提出するものとする。

2 館長は、次に掲げるいずれかの場合、いのちちの使用承認を取り消し、又は使用を中止させ、若しくは使用物件などの回収を指示することができる。

(1) 使用者が、この規定に定める事項に違反した場合

(2) 使用承認条件に違反した場合

(3) 承認申請の内容に虚偽があることが判明した場合

(4) いのちちに関する著作権等を侵害したとき

(無承認の使用)

第11条 館長は、いのちちの無承認使用については、その使用の中止を求めることができる。

(権利譲渡の禁止)

第12条 使用者は、第5条第1項で使用承認を受けたいのちちについて、その権利を譲渡し、若しくは転貸することができない。

(事故、苦情等の処理)

第13条 いのちちの使用に関し事故又は苦情等が生じたときは、使用者の責務において必要な措置を講じるものとする。

(補足)

第14条 この要綱に定めるほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年6月24日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年10月26日から施行する。

基本デザイン



